

第59回大田区子どもガーデンパーティー

生徒会+ボランティア 吹奏楽部参加

副校長 大野 三知男

4月25日(日)午前10時から午後3時まで青空の下、第59回「大田区子どもガーデンパーティー」が開催されました。同イベントは、地域の方々が作る子どもたちのお祭りで、身近な環境の中で子どもたちが地域の方々と触れ合う機会を設けるとともに、地域のコミュニケーションづくりのきっかけにすることを目的としています。第1回目は昭和25年に本門寺公園で開催されましたが、その後、地域の方から会場を増やしてほしいという要望があり、現在では10会場で開催されています。

洗足池会場では、雪谷・千束・久が原の青少年地区対策委員会が中心となり、各種団体が参加・協力して開催されました。小池小学校児童による「開会のことば」で始まった今年の子どものガーデンパーティー。小中学校PTA、田園調布警察署、消防署、ボーイ・ガールスカウト、ジュニアリーダーなどの協力により売店や遊びのコーナーが設けられました。

本校からは、生徒会の役員を中心としたボランティア生徒など計9名が、恒例のフランクフルトの販売をしました。まず、開催の2日前にスーパーマーケットでケチャップや辛子等を、当日朝に、メインのフランクフルトを購入しました。昨年より70本多い、870本用意しました。さらに、8時半からテント張りを行い、汗だくになりながら其々の役割に専念し12時30分には完売しました。その間は、休む暇もありませんでした。後片付けでも、汚れることも気にせずゴミの中に手を入れ分別しながら原状以上にきれいにしてくれました。ご苦労さまでした。売上金の39,000円は、ユニセフなどを通じ寄付します。

一方、吹奏楽部は、昼のイベント(子ども広場)に出演、演奏しました。野外の演奏で、はじめは手間取った生徒もいたようでしたが、大勢集まった人たちから大きな拍手をいただきました。とても素晴らしい演奏でした。また、本校PTA校外活動委員会の方々は、「目指せ!遼君☆藍ちゃん」と銘打ってパターゴルフのコーナーを設けました。こちらも好評で、2度3度と並び直し挑戦した子どももいました。来年も今年以上の活動ができるといいですね。



生徒会・ボランティア生徒によるフランクフルト販売

